

< 決算短信補足資料 >

2002 年 4 月 25 日

各 位

所在地	東京都千代田区永田町二丁目11番1号
会社名	株式会社 有線ブロードネットワークス
代表者の役職名	代表取締役社長 宇野 康秀 (コード番号: 4842 NJ)
問い合わせ先	
責任者役職名	取締役副社長 加茂 正治
電話番号	03(3509)7105

事業再構築に向け本格始動

～ 同軸ケーブル撤去/支店統廃合の前倒しにより収益構造の転換を目指す～

株式会社有線ブロードネットワークス(千代田区・代表取締役社長:宇野 康秀、以下 U S E N)の2002年8月期中間決算は、事業再構築のための施策を前倒して行ったため、連結ベースで大幅減益となり、中間最終利益は158億9千2百万円(前年中間最終利益17億34百万円)を計上しております。

この主な要因は、収益構造を抜本的に見直したことにより、有線音楽放送用に全国の電柱に張ってきた同軸ケーブルを半減してCSデジタル放送に切り替える計画を前倒して行ったこと、また、同時並行で支店統廃合に着手したことによります。

今通期の連結最終利益予想は、210億円です。
(今中間期より、業績予想を発表しております。)

放送事業における収益構造の抜本的改革を目指すための3年間の新経営施策

現在、売上の大部分を占める放送事業では2001年から2004年までの3年間で約150億円の原価・販管費を削減します。同事業の収益構造は、本来、高収益事業でありながら、本事業に係る販管費の増大により利益が抑えられる体質にあります。このため、効率性および合理性を重視し、人口密度の低いエリアを対象に2003年4月までに電柱360万本に架設している同軸ケーブルを撤去し、CSデジタル放送に順次切り替えます。ただし、この撤去計画により影響を受ける既存顧客は15%程度となっております。また、これと並行して全国の支店統廃合を推進し、260支店を190支店へ集約します。

全社として、2004年8月期で連結売上高1200億円、経常利益150億円の目標

放送事業における原価・販売管理費の圧縮150億円に加え、2004年度8月期におけるブロードバンド事業の黒字化によって、会社全体として経常利益150億円の実現を目指します。

以 上